

第二期新武蔵野クリーンセンター（仮称）施設・周辺整備協議会
タウンウォッチングにおける主な意見・感想・質疑まとめ

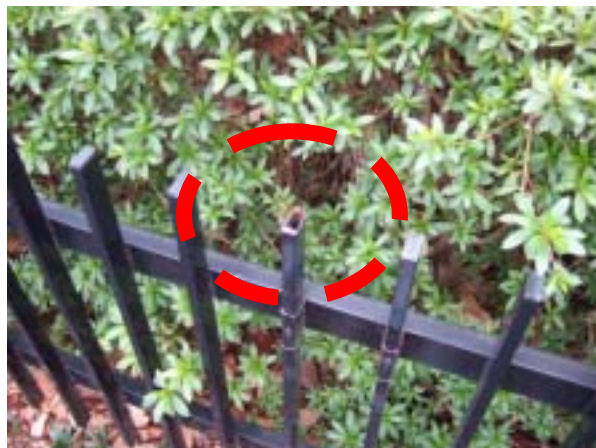
【開催概要】

- ・日時 平成24年12月23日（日曜日）午後2時から4時30分
- ・場所 ルート図のとおり
- ・参加者 委員15名 事務局7名

ルート図



1 市道 212 号線（クリーンセンター西側道路）



当日

歩道の幅員は 2.5m あるが、桜の木が植えられているところは 1.2m 程度しかなく、狭い。自転車が通るときはよけなければならない。クリーンセンターの柵が危ない。（上端部のカバーがはずれている。子どもにとって危険な高さ。）テニスコートのフェンスから歩道の境界までは 4 m 程度のスペースがある。

作業部会

歩道は狭いが、自転車は原則として車道を通ることになった。これを踏まえ、歩道の拡幅はどうすすめていくか。NTT の東側の歩道の拡幅もあるのか。（高石委員）

歩道の拡幅については、長期的に検討とのことだが具体的な検討を進めるべきでは。（興杢委員）

- ・ クリーンセンター側については、建替えに合わせた拡幅を行う意向があるが、NTT 側へのセットバックは NTT との調整を要する。車道を狭めて歩道を拡幅することも考えられるが、警察との調整が極めて困難な状況。そのため長期的な検討を要する。

2 緑町コミュニティセンター



当日

エレベーターの設置が必要。

出入り口付近の掲示板が多すぎる。町会・コミセン以外の掲示板はクリーンセンターの方に移動できないか。

テニスコートの休憩コーナーはあまり利用されていない。有効活用できないか。

コミュニティセンターの内部からテニスコート側に避難するルートが不十分。

3 緑町ふれあい広場公園・テニスコート・野球場



当日

遊具が置いてあるコーナーは子どもたちから人気が高くよく利用されている。

テニスコートと野球場のすき間にトイレの設置ができる。
都市公園の区域はどこまでか。

テニスコート・野球場以外の部分すべて。

現クリーンセンター建設段階におけるまちづくり委員会の提言では、多目的運動広場（少年野球・ソフトボール利用）だった。

クラブハウスの利用者をあまり見かけない。

クラブハウスの2階はどうなっているのか。

（更衣室・休憩スペースなどがある。）

野球場の駐車場は他市の利用者が多い。

（この日は練馬1台、習志野4台、所沢1台、多摩8台）

ヒマラヤスギは立派な樹木なので保存すべきだ。

アカマツは樹形がよく立派なので保全すべきだ。

作業部会

クラブハウスの解体が来年に迫っているので、テニスコートの休憩スペースの利用なども含めて、エリア内の運動施設の総合的な検討は早急に行うべきでは。(越智委員)

4 デニーズ周辺



当日

雰囲気がいぶんかわった。
もう少し市役所よりも飲食店があるとよい。
マンションの外構計画にはこだわりを感じる。
「ベルメゾン母力」は旭化成ホームズとお母さん大学が提携して事業をすすめる子育てをテーマにした賃貸住宅。

作業部会

旭化成の子育て住宅の第一号が武蔵野というのを初めて知った。北町、緑町は、元々官舎や社宅があり、子育て世代が多かったことが街の活力につながっていた。社宅や官舎の売却が進んでおり、ファミリー向けの世代を継続的に取り入れていくことが大事。ファミリー向けの分譲マンションは一時期に同じ世代が入居することになる。現在は長期間使える住宅も増えてきているので、2世帯で暮らすといったことも考えられる。様々な居住者がでてくる可能性があることも考慮に入れた地域づくりも必要ではないかと感じた。(塩澤委員)

5 NTT 社宅跡地（宅地開発戸建て分譲）



当日

36 区画 6990 万円～9580 万円で分譲中

北町五丁目町会のエリア。今後町会としての対応を検討中。

作業部会

車の出入りが増え、交通量が増えるのではないか。（島森委員）

6 千川上水



当日

車道の拡幅ではなく、遊歩道として整備してほしかった。

親水空間が整備されるとよい。

樹木につけられた樹木名のプレートはけやきコミセンの手作り。

道路幅員が狭いため車の出入りが少なかったが、今回の工事によって

道路が広がり、車の出入りが多くなってしまおうのではと不安である。

作業部会

今回の整備工事について説明が不十分ではないか。(興杵委員)

今回の整備工事について、業者が説明に来た。整備区間の延長がどうなるか質問したが、それは市の考えなのでわからないとの回答であった。(高橋健一委員)

今回の整備工事は元々上水区域が道路区域内に越境していたものを、NTT社宅跡地の開発事業にあわせて道路と上水の境界を正しい位置に戻し、緊急車両が通行できるようにし、安全安心なまちづくりに寄与するものである。

「千川上水整備基本計画」(平成22年5月策定)に千川上水全体の整備計画が示され、この計画に基づく整備は、今年度から順次すすめており、平成33年度の完了を目指している。今年度はNTT社宅跡地の開発事業に合わせて周辺整備を行う。

「千川上水整備基本計画」においては、「水と緑の環境を活用した散策や休憩の場、親水や身近な自然とのふれあいの場として、多くの市民に親しまれるような整備」をめざし、観察デッキや休憩スペース、遊歩道の整備など回遊性の向上を行うと示されている。

樹木名のプレートは「千川上水整備基本計画」の策定以前に緑に関心のある市民の方々により取り付けられたものである。

「千川上水整備基本計画」について策定度、市報やホームページ等にて公表し、工事により影響のある箇所や近隣の方々へはチラシ等で工事の内容を周知した。今後周知方法を工夫する。

都市計画道路の計画はどうなっているのか。事業化の見込みはないようだが、今後どうなるかはこの地域の大きな課題。都市計画の廃止についても検討してほしい。(塩澤委員)

幅員40mで武蔵野市と練馬区にまたがる形で計画がある。市内において事業化の予定はないが、計画自体は残っている。

この都市計画道路はもともと中島飛行機の工場に物資を運ぶために計画されたと聞いている。この道路計画は必要なのか。(高橋健一委

員)

現在の法制度において、都市計画の廃止はむずかしい。

都営住宅の空き地が都立公園になることも踏まえ、千川上水との連携をはかりながらよい公園があるまちとしてのまちづくりを進めてほしい。(平田委員)

都営住宅の空き地は中央公園を拡充する形で、平成 25 年 3 月末に都市計画決定を予定しており、現在東京都で手続きをすすめている。

7 吉祥寺北町 5 丁目農地



当日

クリーンセンターの煙突がはっきりと見える。

数少ない市内の貴重な農地(生産緑地)

新鮮野菜の直売所(やまふくは高橋健一委員経営)

8 市道第 41 号線



作業部会

(市営プール前交差点から東側)歩道が狭い。自転車の往来が危険。
自転車専用道はできないか。(島森委員)

(市営プール前交差点から西側)イチョウ並木の落ち葉に困っている。
落葉の時期になると、毎日大量の葉を拾わなければならない、大変である。
緑が多いのはよいが、樹種による。別の樹木に変えられないか。
(狩野委員・藻谷委員)

9 扶桑通り・けやきコミュニティセンター



当日

けやきコミセンはつくりがおしゃれ。

茶社を開催している。(第3土曜日 14:00~16:00)

市営住宅は庭いじりが多少は許容されているようだが、都営は一切認められない。

作業部会

成蹊学園の壁をリニューアルできないか。(塩澤委員)

市からも生垣にするようお願いしているが、成蹊学園側からはすぐには整備ができないとの回答があった。今後も継続的に調整を図っていく予定。

交通量が多いにも関わらず隅切りも整備されておらず事故も多い。拡幅の予定があるようだが、最近新築された沿道の建物の所有者はこのことを知らない様子であった。周知が不足しているのでは。(高石委

員)

扶桑通りは都市計画道路ではなく、明確に拡幅の計画があるわけではない。開発指導要綱（現在はまちづくり条例）の協議の中で、任意にセットバックをお願いしている。戸建ての住宅などでは敷地面積の制約もあり、指導の徹底はむずかしい状況。

10 扶桑通り南公園周辺



当日

緑町と比べて、クリーンセンターの煙突が小さく見える。

小道ガーデンは竹中工務店が社宅を建設する際に整備された公園で、けやきコミセンで植栽やその手入れをしている。

（最近少し物が多すぎないか？）

11 武蔵野浄水場周辺



当日

公園がきれいに整備された。

桜の時期にはお茶会もやっていた。

保存された大木の存在感が大きく、公園のシンボルとなっている。

12 中央通りさくら並木公園



当日

元々は大きなお屋敷だった。

13 武蔵野総合体育館



当日

駐車場の利用状況は、多摩以外のナンバーが9台、多摩ナンバーが15台であった。

14 ストリート広場



当日

無料開放。

市民以外の利用者が多いように見受けられる。

15 武蔵野総合体育館北側駐車場



当日

駐車場は他市の利用が多い。(多摩ナンバー 4 台、多摩ナンバー以外 5 台)

作業部会

(1) 自転車の利用について

子育て中のお母さんにとって、自転車はなくてはならない存在。最近では自転車利用の危険性などネガティブな面が指摘されているが、武蔵野市は平地で自転車利用をしやすい。自転車を利用しやすいまちづくりを考えてもよいのでは。(塩澤委員)

市道41号線に自転車専用道はできないか。(島森委員)

自転車専用道の整備について方針や基準はあるのか。(島森委員)

大野田小学校前の自転車専用ゾーンはよい。他の道路にも設置できないか。(越智委員)

～ 市内には、武蔵境のかえで通り自転車専用道が整備されている。また、試行的にかたらいの道に自転車通行帯の路面標示をしている。

自転車専用道やゾーンは道路幅員の状況から整備がむずかしいケースが多いが、駅付近の新設道路や拡幅道路の整備にあたっては、自転車道に固執せず、自転車レーン、自転車通行帯など、可能な範囲で、自転車の通行環境整備に努めていきたいと考えている。

警察では「自転車ナビマーク」の導入に向けた検討もされている。なお、自転車専用道等の整備については、国土交通省でガイドラインを定めている。

車道の歩道側の端を自転車専用ゾーンとするのはよいが、路面の状況が悪く危険なケースもある。グレーチングに車輪がはまって転倒したことがある。(島森委員)

歩道が狭い方が自転車の侵入を防ぐことができるという逆転の考え方もある。(狩野委員)

(2) 緑・公園について

緑が多い地域であると改めて感じた。(島森委員)

公園のまちとして、さらにより環境となればよい。(平田委員)

(3) その他

落ち着いた住宅地の中に公益的な施設や魅力的なコミセンや公園などがあり、この地域で子育てができてよかったと感じている。新クリーンセンター周辺がよりよくなることを望む。(塩澤委員)

老後を過ごすのにもよい地域だと感じている。(狩野委員)

新施設の建設にあたっては、周辺の整備も含め他の地域からくる人にも興味をもたれるようなすばらしいクリーンセンターを期待する。(藻谷委員)

17 タウンウォッチングエリア周辺地域

(1) 市道 240 号線について



作業部会

NTT の前を工事している。(高橋豊委員)

歩道の拡幅工事ではなく、段差解消などの舗装の整備と聞いている。(興梠委員)

パークタウン側も路面の凹凸が見られる。今後整備されるとのことで期待している。(平田委員)

・ 路面の改修工事を行っている。路面の凹凸をなくすとともに、車道と歩道の高低差を小さくして、バリアフリー化をはかる。歩道・車道共に拡幅はない。NTT 側の歩道、パークタウン側の歩道という順番で工事を進め、平成 25 年 3 月に工事が完了する予定。